

第 52 回日本補体学会学術集会開催のご案内

下記の要領で第 52 回日本補体学会学術集会を愛知県名古屋市にて開催いたします。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

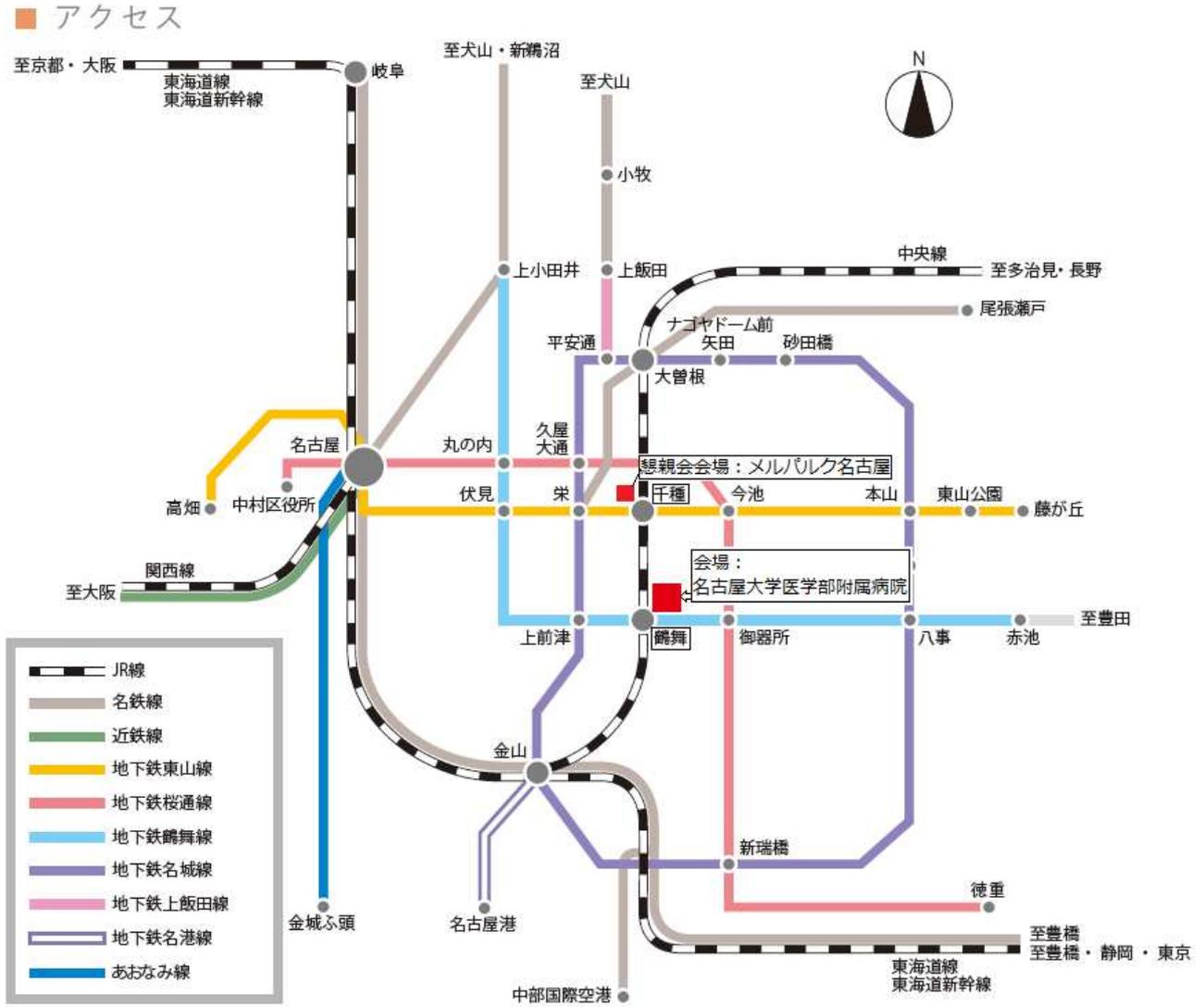
1. 会 期： 2015 年 8 月 21 日（金）、22 日（土）
2. 会 場： 名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3 階 講堂
〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65
TEL：052-741-2111（代）、052-744-2205（ダイヤルイン）
3. 参 加 費： 参加費 一般 5,000 円 学生（研修医） 2,000 円
懇親会費 3,000 円
4. 抄 録 締 切： 2015 年 6 月 24 日（水） 必着
5. 抄録送付先： E-mail または CD にて送付してください。
① E-mail にて送付の場合
mmizu@med.nagoya-u.ac.jp
または、nagoya2-pd@med.nagoya-u.ac.jp
② CD にて送付の場合
〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科
腎不全システム治療学寄附講座(※)・腎臓内科
第 52 回日本補体学会学術集会 集会長 水野 正司
TEL：052-741-2111（代）、052-744-2205（ダイヤルイン）
FAX：052-744-2205
※2015 年 2 月 1 日より、「腎不全総合治療学寄附講座」から
名称が変更になりました。
6. 内 容：
招待講演：B.Paul Morgan（Cardiff University, UK）
「Complotype and disease susceptibility」
特別講演：山本 哲郎（熊本総合医療リハビリテーション学院）
「リボソームタンパク質 S19 多量体-C5a 受容体システムの多彩な役割
(diverse roles of ribosomal protein S19 oligomer-C5a receptor system)」
補体学会企画：若宮 伸隆（旭川医科大学）
「補体関連疾患研究のための補体検査システムの構築」
ミニシンポジウム：「抗補体治療の臨床応用へ向けた取り組み」
 - 1) 今長谷 尚史（佐賀大学）
「敗血症治療における抗補体治療が果たす役割は？」
 - 2) 渡井 至彦（名古屋第二赤十字病院）
「腎移植における抗補体治療の現状と可能性」

- 3) 黒田 宙 (東北大学)
「補体系を標的とした免疫性神経疾患治療」
- 4) 今井 優樹 (名古屋市立大学)
「C5a-C5a 受容体を標的にした創薬の展望」

ランチョンセミナー：日高 義彦 (信州大学)
「非典型溶血性尿毒症症候群の診断と治療」

7. 集 会 予 定：8月21日 (金) 12:00 ~ 18:00 (仮) 集会
18:30 ~ 21:00 (仮) 懇親会
8月22日 (土) 9:00 ~ 17:00 (仮) 集会 (13:00~14:00(仮) 総会)
 8. 懇 親 会：メルパルク名古屋 (集会終了後、貸切バスで移動)
〒461-0004 名古屋市東区葵 3-16-16 TEL 052-937-3535
8月21日 (金) 18:30 ~ 21:00 (予定)
 9. 発 表 方 法：すべて口頭発表、PC プレゼンテーションで行います。一般演題は討論も含めて
15分間を予定しています。詳細は講演集にて御案内いたします。
 10. 抄録作成及び送付方法：
別紙抄録作成及び送付要項を参照の上、添付見本のように作成し (日本補体学会のホームページから Microsoft Word サンプルをテンプレートにお使いください。) Word ファイル及び PDF ファイル両者を集会事務局まで E-mail (mmizu@med.nagoya-u.ac.jp, nagoya2-pd@med.nagoya-u.ac.jp) または CD でお送りください。電子媒体のみで行いますので、ギリシャ文字などの特殊文字にご注意ください。なお、送付の際には、受領書の送付先 (E-mail アドレス) を明記して下さい。
 11. 日本補体学会学術集会の優秀賞募集について：
今回、日本補体学会学術集会に応募された演題発表者の中から、原則1名を「優秀賞」として選考し、顕彰します。詳しい募集要項は、別紙「日本補体学会学術集会優秀賞募集要項」をご参照下さい。皆様、奮ってご応募下さい。
 12. 交通費補助：学生 (研修医) 参加者 (演題発表者) には交通費の補助があります。演題送付の際、「交通費補助希望」と明記ください。
 13. 会場アクセス案内：
名古屋大学医学部附属病院
詳細は、名古屋大学医学部附属病院ホームページ内
(<http://http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>) 「交通アクセス」をご参照下さい。
- ・新幹線 名古屋駅から
- (1) JR 中央本線に乗換え「鶴舞駅」(北改札口・名大病院口側) 下車 徒歩 3 分
 - (2) 市営地下鉄線に乗換え (東山線「伏見駅」にて鶴舞線に乗換え)、
「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分
(4 番出口より、鶴舞公園内を通じても越してください)
 - (3) 名古屋駅よりタクシー (乗車時間約 25 分、運賃約 2,200 円)

<交通機関路線図>



<名古屋大学医学部附属病院内 中央診療棟 案内図>



<名古屋大学医学部附属病院内 中央診療棟3階講堂 案内図>



階段を登り、病棟方面にお進み下さい。



看板に従い、病棟方面にお進み下さい。



夜間救急入口方面にお進み下さい。



正面の自動ドアからお入り下さい。



⑤ このエレベータホールは通り過ぎて下さい。※病棟のエレベータです。



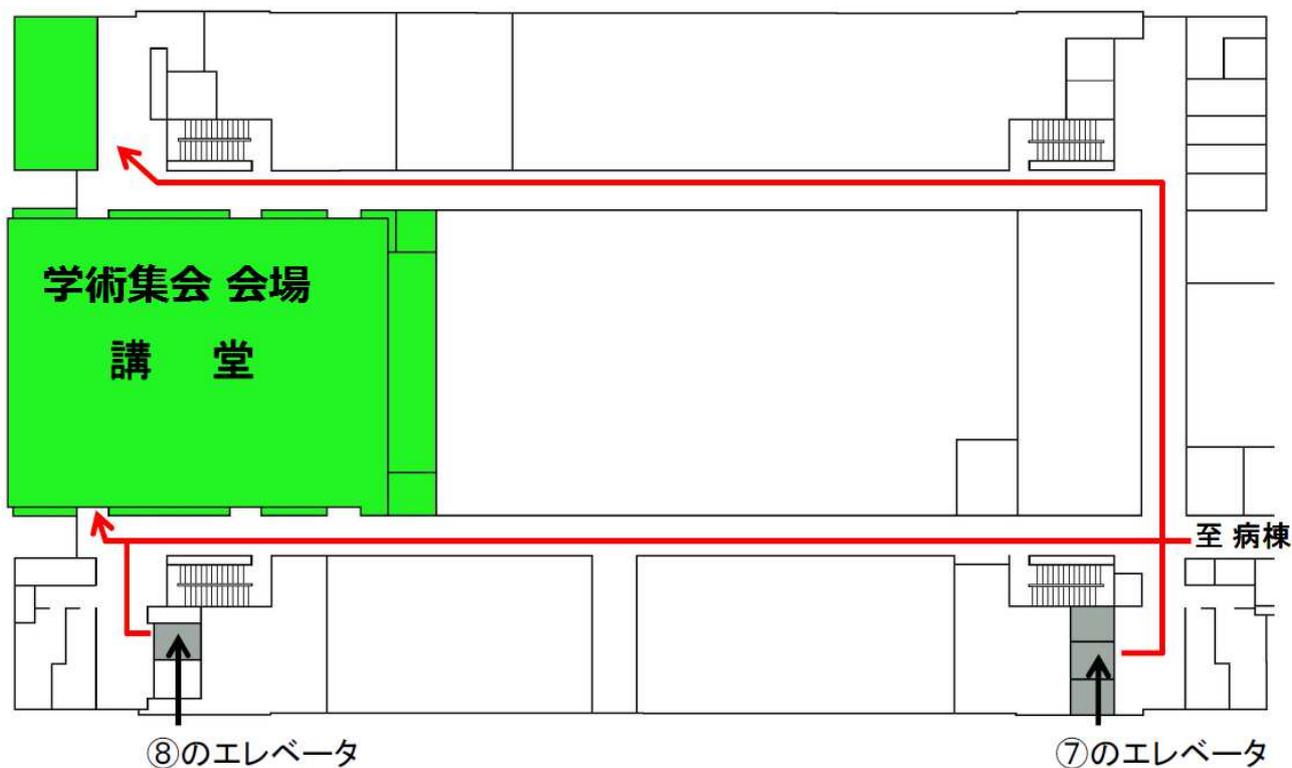
⑥ このエレベータも通り過ぎて下さい。



⑦ 3階会議室に行く場合は、このエレベータにお乗り下さい。



⑧ 3階に会議室に行く場合は、こちらのエレベータもご利用いただけます。



補体学会学術集会抄録作成および送付要項

<作成>

1. ページ設定をA4用紙にして、2段組みで作成して下さい。(1演題あたり1～2枚)
2. 別紙の見本を参考に、[目的] (あるいは [はじめに])、[方法]、[結果]、[考察]、[結論] (あるいは [総括])、および [文献] の順に記述して下さい。

図表を含む抄録を歓迎します (ただし、既刊の印刷物から写真・図板を転載される場合は権利者に転載の許諾を得て頂き、原稿内にその旨わかるように明記してください。また、掲載を予定されている写真・図板を使用される場合には、その使用に
たします。)

引用文献は、本文中では引用順に右肩に番号をつけ、[文献] の項では番号順に、著者名 (筆頭著者名のみ)、雑誌名、巻、ページ、および西暦年号 (括弧内に入れる) を、この順に記載して下さい。

例： 1) 宮本祐二 他、医学のあゆみ、132: 305 (1985)

2) Matsushita M. et al. *J. Exp. Med.* 176: 1497 (1992)

3. 用紙は、上下 3.0 cm、左右 2.0 cm ずつのマージンをとって下さい。
4. 抄録集 (補体 Vol. 52(No.1)) の体裁を統一したいので、下記の点に注意して、できるだけ見本のよう
に印字して下さい。
 - ・ フォントは、日本語は MS 明朝、英語と数字は Century を用い、英字、数字は半角として下さい。
 - ・ 文字サイズは、演題名は 14 pt を用い、氏名、所属、および本文には 10 pt を用いて下さい。
 - ・ 行間は、1 行として下さい。
 - ・ 演題、氏名、所属は中央揃えにして下さい。
 - ・ 演題名から 1 行あけて氏名を記入し、その下に所属を記入して下さい。
 - ・ 複数の施設の場合は、施設所属者の氏名の右肩に数字をつけ、施設には左肩に数字を付けて、順
に所属を記入して下さい。
 - ・ 所属より 1 行あけて、英字のタイトル、氏名、および所属を、それぞれ行を変えて印字して下さ
い。
 - ・ 英語の所属より 1 行あけてから本文を印字して下さい。
 - ・ 2 ページ目は、左上隅から印字して下さい。
5. 図表も、大きさを考慮の上、鮮明な原図あるいは写真 (白黒) を原稿中に添付して下さい。(縮小ある
いは拡大の指定はご遠慮下さい)

<送付>

1. 電子媒体のみでの抄録受付とします。

Windows, Mac とともに、なるべく補体研究会ホームページからダウンロードした Microsoft Word サンプルファイルをテンプレートにして作成し、Word ファイル及び PDF ファイル両者を E-mail (mmizu@med.nagoya-u.ac.jp または、nagoya2-pd@med.nagoya-u.ac.jp) の添付ファイル

としてまたは CD にして集会長宛に送ってください。Word をご使用になっておられない場合は、PDF ファイルとともに、text ファイルを一緒にお送りください。CD には、筆頭者名、演題名、ソフト名を明記して下さい。PDF ファイルは、Adobe Acrobat Reader でギリシャ文字などの特殊文字が正しく印字されているかどうかをご確認後ご送付ください。

2. **第 52 回日本補体学会学術集会より抄録送付時に会員番号をお知らせ下さい。**

会員番号は、学会誌「補体」Vol. 51, No. 2 送付時にお知らせしています。または、日本補体学会から送られてくる封筒のお届け先住所に記載していますのでご確認ください。

3. **締め切りは、6 月 24 日（水）必着とします。**

抄録原稿を受け取り次第、受領メールを E-mail にて送付いたします。抄録を送付されたにもかかわらず 6 月 24 日（水）までに抄録受領メールが届かない場合は、恐れ入りますが集会長までご連絡願います。

抄録集は全国の医学系図書館へ配布されますので、内容・体裁ともに充実したものに致したく、宜しくご協力下さいますようお願い申し上げます。

